

政策シート 政策名 05 斎場・墓園・墓地の整備推進

予算費目名 01 斎場費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
----------------	-----------------------------------

政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。
----------------	---

基本政策 02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

送る方に安心感と安らぎを与え、悲しみを癒す雰囲気を持った施設とする。また、心身にハンディキャップを持った人々を含め、広い対象の人が利用できる施設とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	714,278	1,633,617	405,478			
決算	702,572	1,626,021				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	21,000	21,000	26,600			
年間経費(予算又は決算+A+B)	723,572	1,647,021	432,078			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

- ・全ての斎場で、新型コロナウイルス対策を行い、滞りなく火葬業務を実施することができた。
- ・火葬予約システムを構築し、予約受付業務の効率化を図ることができた。
- ・火葬体数の増加に対応するために進めてきた浜北斎場拡張整備事業が完工した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

- ・斎場施設が休止することの無いよう運営維持管理を行い、円滑な運営ができています。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	斎場運営事業	—	—	—		274,457	270,957	0.5				
2	斎場施設整備事業	—	—	—		80,009	80,009					
3	斎場再編・整備事業	—	—	○		73,900	50,800	3.3				
4	斎場デジタル運営経費	—	—	—		3,712	3,712					
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						432,078	405,478	3.8				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 斎場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

遺体やペット類の火葬及び葬儀のための式場の貸出しを行っており、業務が一時停止することや中止することがないよう、火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、常に市民が安心して利用できる施設として運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S47	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例・浜松市佐久間・水窪霊きゆう自動車条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	241,316	244,573	270,957			
	決算	230,955	239,603				
	国・県支出						
	市債						
	その他	43,021	41,769	44,122			
一般財源		187,934	197,834	226,835			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		3,500	3,500	3,500			
人工	正規	0.5	0.5	0.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		234,455	243,103	274,457			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 02 政策 05 予算費目 01 所属コード 000605000 事業 01 (担当課) 市民生活課 (責任者) 佐藤 一郎 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

施設の維持管理を行う。

- ・浜松斎場運営事業
- ・浜北斎場運営事業
- ・天竜斎場運営事業
- ・雄踏斎場運営事業
- ・三ヶ日斎場運営事業
- ・春野斎場運営事業
- ・佐久間・水窪斎場運営事業



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全ての斎場で、新型コロナウイルス対策を行い、滞りなく火葬業務を実施することができた。
- ・浜松・浜北・雄踏斎場について、指定管理者による円滑な事業運営ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・引き続き、全ての斎場で新型コロナウイルス対策を実施する。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・斎場利用者に対し、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みへの協力を求めるための情報発信を行った。
- ・指定管理者制度により運営する浜松斎場では、緊急事態宣言の期間は売店を閉鎖する等、指定管理者と協調して積極的に感染拡大防止の取り組みを行った。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和2年度に構築した火葬予約システムの運用開始に伴い、電話での予約受付等、事務の削減が見込まれる。
- ・浜北斎場拡張整備事業の完成により、増築棟の火葬炉4基が供用開始となるため、運営費の増額が見込まれる。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを継続する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

施設の運営及び維持管理を行う。

- ・浜松斎場運営事業
- ・浜北斎場運営事業
- ・天竜斎場運営事業
- ・雄踏斎場運営事業
- ・三ヶ日斎場運営事業
- ・春野斎場運営事業
- ・佐久間・水窪斎場運営事業

事業シート (事業名) 02 斎場施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

遺体やペット類の火葬及び葬儀のための式場の貸出しを行っており、業務が一時停止することや中止することがないように、火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、常に市民が安心して利用できる施設として運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S47	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	78,531	143,518	80,009			
	決算	77,784	141,230				
	国・県支出						
	市債						
	その他	58,000	114,000	64,000			
	一般財源	19,784	27,230	16,009			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		77,784	141,230	80,009			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 02 政策 05 予算費目 01 所属コード 000605000 事業 02 (担当課) 市民生活課 (責任者) 佐藤 一郎 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

施設の改修・整備を行う。

- ・浜松斎場施設整備
- ・浜北斎場施設整備
- ・天竜斎場施設整備
- ・雄踏斎場施設整備
- ・三ヶ日斎場施設整備
- ・春野斎場施設整備
- ・佐久間・水窪斎場施設整備



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、施設の改修・整備を行った。
- ・火葬予約システムを構築した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、施設の改修・整備を行った。
- ・火葬予約システムを構築し、電話予約からインターネット予約に変更することで、火葬予約に伴う事務削減を図ることができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後の火葬体数の増加や施設の老朽化などの課題に対応し、中長期的に安定した施設運営ができるよう必要な改修、整備を行う。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

施設の改修・整備を行う。

- ・浜松斎場施設整備
- ・浜北斎場施設整備
- ・天竜斎場施設整備
- ・雄踏斎場施設整備
- ・三ヶ日斎場施設整備
- ・春野斎場施設整備
- ・佐久間・水窪斎場施設整備

事業シート (事業名) 03 斎場再編・整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

将来の火葬体数の増加や斎場施設の老朽化への対応及び公共資産の適正保有の観点から、「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場施設の拡張整備等を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H26	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	394,431	1,245,526	50,800			
	決算	393,833	1,245,188				
	国・県支出						
	市債						
	その他		1,175,700				
	一般財源 一般会計繰入金	393,833	69,488	50,800			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		17,500	17,500	23,100			
人工	正規	2.5	2.5	3.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		411,333	1,262,688	73,900			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
浜松斎場再整備			目標	調査等	調査等	都市計画決定等	仕様検討等	事業者選定等	設計・建設工事
			実績	調査等	調査等				
浜北斎場拡張整備			目標	設計・建設工事等	建設工事	供用開始			
			実績	建設工事	建設工事				
雄踏斎場再整備			目標	調査等	調査等	都市計画決定等	仕様検討等	事業者選定等	設計・建設工事
			実績	調査等	調査等				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 02 政策 05 予算費目 01 所属コード 000605000 事業 03 (担当課) 市民生活課 (責任者) 佐藤 一郎 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

平成28年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、施設拡張等となる浜松、浜北及び雄踏斎場の調査・整備等を行った。

- ・浜松斎場再整備 : 関係者との協議・調整
- ・浜北斎場拡張整備: 拡張整備事業(H30・R1・R2債務)
- ・雄踏斎場再整備 : 関係者との協議・調整



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・平成28年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、施設拡張等となる浜松、浜北及び雄踏斎場の整備に必要な調査及び拡張工事を行った。
- ・浜北斎場については、拡張整備事業が完了し、令和3年4月1日に供用開始した。
- ・浜松斎場・雄踏斎場については、再整備に係る地元との意見交換を継続することを条件に、事業実施を容認する旨の合意を得た。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜北斎場拡張整備事業の進捗に伴い、事業費が前年度に比べて増加した。
- ・浜松及び雄踏斎場の再編事業については、関係自治会などへの説明会や意見交換会により、住民意見の収集・分析など継続して行った。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場再編等の事業進捗や具体化に伴い、関係自治会への説明事務や用地買収、都市計画等に関する事務手続き等、業務の増加が見込まれる。
- ・浜松及び雄踏斎場の再整備については、PFIによる民間活力を導入する。民活導入により事業費の削減が見込まれる。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

平成28年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場施設の拡張整備等を行う。

- ・浜松斎場再整備 : 都市計画決定、関係者協議等
- ・浜北斎場拡張整備: バス待合所整備
- ・雄踏斎場再整備 : 都市計画決定、関係者協議等

事業シート (事業名) 04 斎場デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

火葬予約にあたり、電話・FAXによる相談・受付等を行っていたが、インターネットによる予約システムを導入し、市民の利便性向上及び職員の作業時間軽減を実現するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			3,712			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			3,712			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				3,712			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 02 政策 05 予算費目 01 所属コード 000605000 事業 04 (担当課) 市民生活課 (責任者) 佐藤 一郎 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・火葬予約システムを構築し、令和3年3月から運用を開始した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・火葬予約システムを構築し、計画通り令和3年3月から運用を開始した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・火葬予約システムを構築したことで、葬祭事業者(市民)は、市内6斎場の予約状況の閲覧、予約がいつでも可能となり、利便性が向上した。
・電話の聞き間違い等の事務処理ミスを防ぐことができるとともに、電話対応が無くなることにより、職員が他の業務を中断することなく従事することができるようになった。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・火葬予約システムの運用開始に伴い、予約受付に係る市民の利便性向上及び職員の事務削減が図られる。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・火葬予約システムを継続して運用する。

政策シート 政策名 05 斎場・墓園・墓地の整備推進

予算費目名 02 墓園費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

墓園・墓地等を適正に維持管理するとともに、周辺環境や景観に配慮した墓地を市民の墓地需要を踏まえ対応することで、市民に安心感と良好な居住環境を提供する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	181,132	160,159	136,809			
決算	151,878	123,037				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	18,900	18,900	18,900			
年間経費(予算又は決算+A+B)	170,778	141,937	155,709			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
天竜区船明地区墓地の整備済墓所区画数	区画	目標	2628	2628	2628	2628	2628	5,799
		実績	2628	2628				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営、樹木管理工事等の施設維持を行った。
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営、焼骨収蔵受付及び収蔵等を行った。
- ・地域からの要望を受け共同墓地の廃墓に向けた手続きを進めた。
- ・中沢墓園の擁壁について、施設点検の結果を踏まえて修繕工事を実施した。
- ・三方原墓園について、所有者不明墓所の再貸付に向けて該当区画及び墓参道の整備工事を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者のもと、墓園・墓地等を適正に維持管理運営することができている。 ・船明墓地については、整備済区画数で現時点での墓地需要を満たしていることから、貸付状況を踏まえ今後の整備方針を検討する。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	墓園等整備・管理事業	—	—	—		155,709	136,809	2.7				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						155,709	136,809	2.7				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 墓園等整備・管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

墓園・墓地等を適正に維持管理するとともに、周辺環境や景観に配慮した墓地を市民の墓地需要を踏まえ対応することで、市民に安心感と良好な居住環境を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S57	-	一般会計	自治事務(その他)	墓地、埋葬等に関する法律、墓園・墓地条例、納骨堂条例等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	181,132	160,159	136,809			
	決算	151,878	123,037				
	国・県支出						
	市債						
	その他	157,579	111,801	105,655			
	一般財源 一般会計繰入金	-5,701	11,236	31,154			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,900	18,900	18,900			
人工	正規	2.7	2.7	2.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		170,778	141,937	155,709			

3 事業の指標の状況 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
天竜区船明地区墓地の整備済墓所 区画数			目標	2628	2628	2628	2628	2628	5799
			実績	2628	2628				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営、樹木管理工事等の施設維持を行った。
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営、焼骨収蔵受付及び収蔵等を行った。
- ・地域からの要望を受け共同墓地の廃墓に向けた手続きを進めた。
- ・中沢墓園の擁壁について、施設点検の結果を踏まえて修繕工事を実施した。
- ・三方原墓園について、所有者不明墓所の再貸付に向けて該当区画及び墓参道の整備工事を行った。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・指定管理者のもと、墓園・墓地等を適正に維持管理運営することができている。
- ・共同墓地3箇所を廃墓し、地域の要望に応えることができた。
- ・三方原墓園根いろは地区の所有者不明墓所の整備工事が完了し、予定通り令和3年度に再貸付を行うことができる。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・民間墓地の開設や墓終いの傾向など、市民のお墓に対する需要変化を踏まえ、市営の墓園・墓地、納骨堂の今後の整備方針について検討が必要である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・墓園、納骨堂ともに、指定管理者による円滑な事業運営ができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・三方原墓園の所有者不明の区画を分割して再貸付することにより、新たに墓所を希望する市民の需要へ対応する。
- ・船明墓地の未整備区画(4,5期)や納骨堂の増設の必要性について、既存区画の貸付状況や納骨堂の需要、民間墓地の整備状況等を踏まえ、今後の整備方針を検討する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営 樹木管理工事等の施設維持
 - ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営 焼骨収蔵受付及び収蔵
 - ・共同墓地の樹木管理工事等の施設維持及び廃墓手続き
 - ・船明墓地未整備区画(4,5期)や納骨堂増設の必要性等、市営墓地・墓園、納骨堂の整備方針の検討
- 【参考：船明墓地の整備状況】
 平成23年度から段階的(第一期～第五期)に整備を行う。平成25年度までに第三期整備まで終了。
 総区画予定数 5,799区画(うち整備済み2,628区画)